

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)		タクシー運転手	・ボーナスも支給され、前年度より良くなりそうである。買物や忘年会などで財布のひもも緩み、タクシー利用が増えて売上が期待できる。
		通信会社（営業担当）	・近隣店舗の閉店の影響やボーナス商戦に伴い、販売量、来客数共に増える。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・年末に向けて売上見込みが微増ながら伸びているので、やや良くなる。
		百貨店（売場主任）	・来年10月の消費税の引上げを控え、今冬はコートなどの冬物重衣料を先行き前倒しで購入する動きがみられるため、冬物商戦は好調に推移すると見込まれる。
		家電量販店（店長）	・BS4K、8Kの注目度や関心により、テレビや専用チューナー、BSアンテナの需要は高まってくる。
		自動車備品販売店（役員）	・消費税の引上げ前の季節商材の動きは良くなると見込まれる。車も新車需要が多く、追加装備部品の要望も高くなっている。また、ガソリン単価も高値安定傾向にあり、給油量は減っているが、販売金額としては伸びている。
		通信会社（役員）	・12月のBS4K放送開始に向けて積極的な営業活動を展開していく計画であり、今後の更なる契約獲得増加に期待している。
		通信会社（役員）	・年末の商戦期を迎え、また4K放送スタートというイベントがあるので契約数が伸びると見込んでいる。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅市場は熱くなっていくとみられるが、どれくらい成果に表れるかはまだまだ分からない。
		住宅販売会社（営業）	・消費税の引上げを口にする客が増えている。
		商店街（代表者）	・朝晩が冷え込んできているが、暖冬の予報もあり、冬物の購買意欲が、どこまで回復するか見当がつかない。消費税の引上げの先取りの動きもみられない。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・売上などはずっと前年並みで動いてきている。来月からギフトなどの動きが始まるが、このまま3か月くらいこの調子で行けば、前年並みくらいで推移するのではないかと考えている。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・年末に向けても良くなる要素がない。期待がもてない。
		百貨店（販売促進担当）	・来年10月の消費税の引上げが決定し、増税前の駆け込み需要が活発化することが予想される。今後、個人消費の盛り上がり期待されるが、しばらく時間が掛かると考えられる。
		百貨店（営業企画）	・コートやブーツ、防寒アイテムなどが不振であった今月とは傾向がほぼ変わらず、このままバーゲンセール時期へ入るのではないかと懸念している。
		スーパー（店長）	・国体も終わり、その他に景気が上向く要素は見当たらない。
		スーパー（店長）	・全体的に相場高の予想の中で厳しいと見込んでいる。
		スーパー（総務担当）	・最低賃金の引上げも実施されているが、所得が増加しているという様子はない。節約志向は今後も続く。
		スーパー（総務担当）	・従業員の雇用状況は厳しい状況が続いているものの、特に目立った動向がないことから先行きは変わらない。
		スーパー（店舗管理）	・生鮮物の相場高により客単価が高くなっている。冬物商材が順調に出てきているが、今後高値が落ち着いても、今以上に販売量が上がるとは見込めない。
	スーパー（統括）	・消費動向が大きく変わらないとみている。	
	コンビニ（経営者）	・ついで買いの商品が伸びない。	
	衣料品専門店（経営者）	・売上の現状の厳しさは当分続きそうで、一部閉店もやむを得ないところまできている。	
	家電量販店（本部）	・4K、8K衛星放送開始でテレビ需要を期待するが、貿易摩擦や株価などの状況から消費者心理への影響も懸念される。	
	乗用車販売店（経営者）	・天候もこれから寒くなってくるが、雪が降るまでは販売状況は余り変わりなく続く。	
	乗用車販売店（従業員）	・景気の良くなる要素がみられない。	
	住関連専門店（役員）	・確定していないとはいえ消費税の引上げの実施が濃厚になり、消費にも懸念が広がっているようにみえる。年末まで比較的繁忙期が続く業界ではあるが、一向に消費が上向きになる気配が見受けられず不安が残る。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかく冷え込んでいる。気温と同じように、かなり冷え込んでおり、将来的に明るくなるという兆しは全くみえないという状態である。	

	高級レストラン（スタッフ）	・忘年会の予約は、現在のところ例年並みの受注である。
	一般レストラン（店長）	・変わる要因が見つからない。
	一般レストラン（統括）	・ガソリン価格の高騰により物流費が上がり始めた。食材コスト、人件費などを切り詰めている状況下にて、また利益圧迫が始まった。このような状況の繰り返しと次年度の消費税の引上げを控え、先行きの不安払拭策を考えることで精一杯である。
	スナック（経営者）	・国内外の情勢や株の動きなどに変化があり、ますます不透明な状況である。
	観光型旅館（スタッフ）	・予約保有は、11月も前年並みに回復している。1月までのその他の月は105～114%の予約保有状況である。
	都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は良くない。
	旅行代理店（所長）	・母体企業の経費削減が今期継続されているため大きく変化する要因が見当たらない。
	タクシー運転手	・県外からの観光の予約が、それほど伸びていない。夜は相変わらず静かである。
	通信会社（職員）	・付加価値を上げるためにはサービス部分の業務も多くなり人手を要するが、人手不足が埋まらず、結局サービスの質を高められていない。
	通信会社（営業担当）	・新商品に対する客の反応はそれほどない。相変わらず契約内容も含め価格重視で安価なものを望む客が多い。
	通信会社（店舗統括）	・変化のある要素はみられない。
	テーマパーク（役員）	・国内の団体旅行やインパウンドも、やや回復してくるのではないかと期待はしている。個人旅行も合わせた全体としてみれば、現状と変わらない動きとして3か月先も推移する見込みである。
	競輪場（職員）	・売上単価に大きな変動がみられない。
	住宅販売会社（従業員）	・受注件数は増えたが受注金額が低いこともあり、景気は横ばいの見込みである。
	商店街（代表者）	・北陸新幹線開通に向けた再開発が本格化している。あちこちで工事が始まり、完成までは人出は期待できそうにない。
	コンビニ（経営者）	・ここ1年ほどずっと続いていた客単価の上昇も、既に1年以上経っており、いつまでも続くとは見込めない。来客数の下落が続いていることから客単価の上昇によって売上をキープしていたものの、そろそろ客単価の上昇も止まってきている。そのなかで、来客数はずっと減少していることから、売上は低下していくと考える。
	コンビニ（エリア担当）	・大きな消費環境が変わらないなか、来年の消費税の引上げなどへの心理的不安が少なくない。
	コンビニ（店舗管理）	・当月の好成績はたまたまの産物であった。人手不足からの人員確保の募集費は増え、原材料も人件費高騰から値上がりが続きそうである。
	家電量販店（店長）	・来客数が減少しており、チラシなどの販促を増やしている。購入率や単価により前年並の売上だが、来客数の改善がみられない。
	乗用車販売店（役員）	・米中の貿易や経済摩擦であったり、日米のFTA交渉などで景気の減速が起きると考えている。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・食品スーパー、ドラッグストアの競合環境が激化してきており、対象となる専門店の売上に大きく影響が出るおそれがあり、館全体の来客数にも影響が出るとみられる。
	観光型旅館（経営者）	・11月以降、前年並みの予約水準になっているが、年明け以降の先行予約が弱い。今年の大雪の影響があるかもしれない。
	都市型ホテル（役員）	・大会、コンベンションの大型の集まりの予約状況が悪い。レストラン部のランチ営業は例年と同様の傾向にあるが、ディナー営業に関し、一部の店舗は定休日を月2回実施している。法人予約が厳しい状況にあり、全館での景気動向はやや悪くなる。
	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・水道光熱費などの経費が確実に上昇しており、それを上回る売上増が見込めない。また、冬場に向かって、今以上に入会などの減少と、油の使用量増が見えているので大変難しくなる。
	美容室（経営者）	・国際情勢、株価など、今以上に良くなる気配はみえない。
	x 旅行代理店（支店長）	・販売量見込みが落ちている。
企業動向関連	-	-
	食料品製造業（経営企画）	・例年どおり、年末の需要期に向かって受注量は上向く見込みである。

(北陸)	一般機械器具製造業 (経理担当)	・国内における企業の設備投資は依然堅調であり、生産能力を超える受注量が続いている。ただ一方で、生産能力をカバーすべく設備投資を行おうとしても、工作機械等の納期が長期となっており、目の前の受注に対応することが厳しい状況である。
	建設業(経営者)	・例年のことではあるが、年末に向けて発注が活発になると見込んでいる。
	繊維工業(経営者)	・ともかくにも、生産のコスト高に追われている。原料価格の上昇を販売価格に上乗せすることは非常に難しい状況であるが、特別仕様の商品に関しては別である。
	金属製品製造業(経営者)	・2～3か月先の注文の入り具合をみて、変わらないと判断している。
	一般機械器具製造業 (総務担当)	・受注状況は好調が続くと見込まれるが、当社は受注が少ない中国市場で工作機械の受注が止まっており、その影響が他への市場に出る可能性がある。
	精密機械器具製造業 (役員)	・当社商材のここ1～2年の国内市場の動向は、価格は少し下がり気味の状態で量的には増大しているという流れで、マーケットサイズ自体は余り変化していない。消費税の引上げに向けた動向には注意する必要があるが、しばらくはこの傾向が続きそうである。
	通信業(営業)	・提案から受注までの期間が短い案件が増えている。受注件数、金額共に安定していることから、当面この状況が続くとみている。
	金融業(融資担当)	・取引先においては、小売店で高額品の動きが良いなど、全体に好況感が続いている。その一方で、原料価格の上昇や中国景気の後退などが少しずつ影響し始めたとする輸出企業もあり、株価の下落も重なって全体の好況感を冷やす可能性もある。
	司法書士	・現在受託している案件でも、建物新築やマンションの購入、住宅用敷地の購入など個人の住宅関連の依頼が多い。
	プラスチック製品製造業(企画担当)	・産油国の不安定材料による原油価格の不透明感や、米中貿易摩擦の動向など今後の成り行きに懸念すべき点が多く、見通しは明るくない。
	金融業(融資担当)	・建材販売業者にヒアリングしたところ、仕入価格の引上げが予定されているが、販売価格の引上げが厳しいので当面収益は悪化するとのことである。
	不動産業(経営者)	・同業者の話を見ると、個人からの問合せが、やや少なくなってきたことと、法人からの依頼も少し減少しているということである。2～3か月先になると、やや少なくなっていくという見込みである。
	税理士(所長)	・事業主、中小企業の経営者が、将来の事業継続に非常に大きな不安をもっている。比較的経営内容が良くて借金のない事業所は、場合によっては後継者がいないということで、仕事を閉じてしまうという傾向が、本当に今目の前で起きている状況である。なぜこれほど急速に人手不足になったのか、地方に若い人がいなくなったのか、本当に目先が危ない。客が人手不足で悲鳴をあげている。がんばろうという人は、ベトナムや東南アジアへ人を探しに行っているという状況が、この半年間で急速に増えているというのが実感である。また、給料を上げないと個人消費も伸びない。
	x	新聞販売店[広告] (従業員)
雇用 関連	-	-
	-	-
(北陸)	人材派遣会社(役員)	・募集をかけても人材が採用できない企業からの申込みが増えているが、派遣システムへの求職者も全く期待できない。
	求人情報誌製作会社 (編集者)	・雇用が活発になる動きが出てこない。
	新聞社[求人広告] (担当者)	・まだ増税の影響と呼べるものは感じない。
	新聞社[求人広告] (営業)	・消費税の引上げなど本来、駆け込みでも消費が上向く機運がある割に、周辺企業からは、思ったより影響が感じられないという声が多い。
	職業安定所(職員)	・引き続き薬、医薬品関係や健康食品関係、それに関連するパッケージの製造、印刷の会社からは、たくさんの求人がきている。製造現場の方からも人手不足ということで、多くの相談を受けているような状態である。10月途中ではあるが、当月の求人に関しては順調に数字を伸ばしている状態であり、状況は変わらない。

	民間職業紹介機関（経営者）	・介護関係、建築関係、サービス関係など仕事量は増加しているが、人手不足で業務が遅れていては、景気上向きも先延ばし状態となっていく。
	学校 [大学]（就職担当）	・製造業を中心に、本学へ来学する企業が続いている。次年度に向けての採用意欲の高さが感じられる。
	-	-
x	-	-